



THE RITZ-CARLTON

TOKYO

GBAC STAR FACILITY ACCREDITATION (GBAC STAR™認証) を取得 ～国際基準においても安全かつ安心な施設として認定～

ザ・リッツ・カールトン東京は、このたび、感染症予防対策において、厳しい審査のもと衛生基準を満たした施設であることを証明する国際的認証プログラム「ジーバック・スター・ファシリティ・アクレディテーション（以下、GBAC STAR™認証）」を取得いたしました。

これは、観光庁が実施した国内のMICE関連施設における感染症予防対策制度に関する比較調査の一環として同庁の支援により実現したもので、今回の認定により、ザ・リッツ・カールトン東京が定める清掃計画や消毒、食品の安全管理などの衛生基準は国際基準においても安全かつ安心であることが証明されました。

GBAC STAR™認証とは、世界的な洗浄業界団体International Sanitary Supply Association (ISSA)内の、洗浄、消毒および感染症予防のプロトコルを実施する施設の運営基準を提唱する部門であるGlobal Biorisk Advisory Council (グローバル バイオリスク アドバイザリー カウンシル、以下GBAC)が認定する国際的認証プログラムです。

GBAC STAR™認証は、各施設が定める清掃、消毒、感染症予防プログラムなどの衛生対策に関するマニュアルが同委員会が定める国際的衛生基準ガイドラインを満たしていると認めた場合に進呈されます。

当ホテルにおける取り組みの詳細は、当ホテルウェブサイト (<https://marriott-re-2019ncovc-jp.com/#cleanliness>) 内、「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関するお知らせ」にてご確認いただけます。

